

戸山77期学年通信①4

2023.7.8

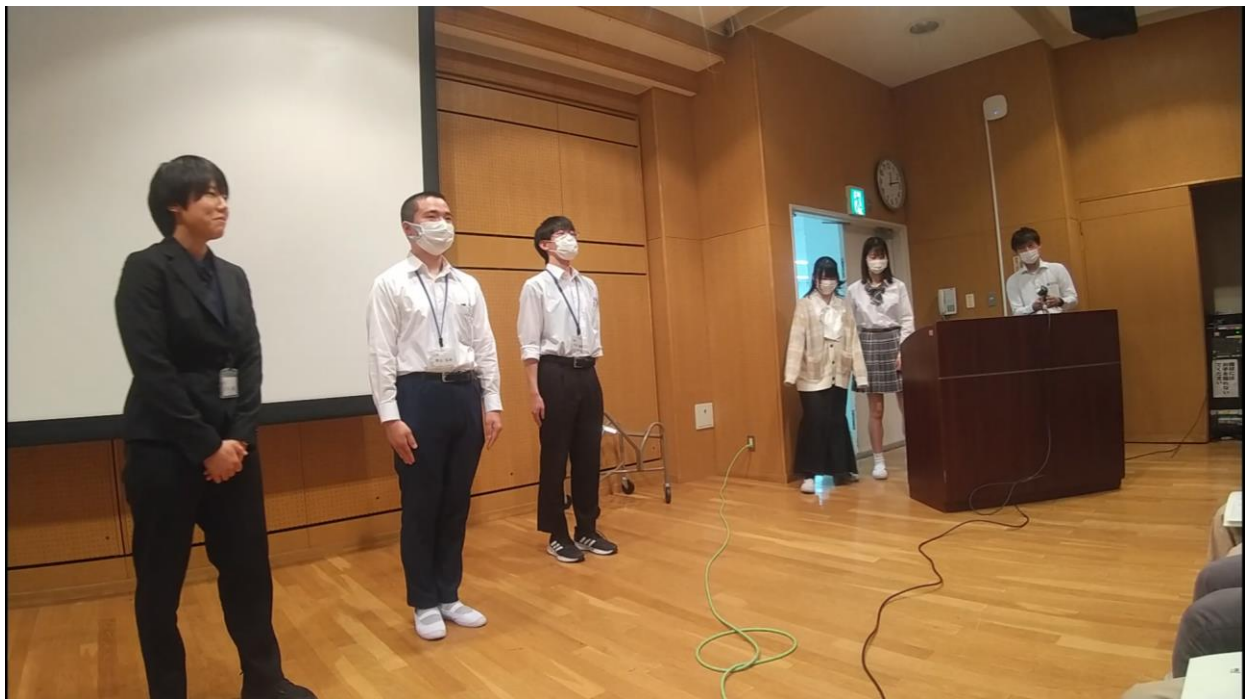
5月～6月、毎年恒例の『教育実習』が全日程を終えました。

今はまだ現役大学生である『教育実習生』ですが、生徒たちにとっては『先生』の一人であることに変わりはありません。

一回の授業は戸山生にとってまさに生命線。彼らの将来を預かる立場として、若き『先生』たちは責任感をもって教壇に立ってくれました。

今回、我々が77期生を担当してくれた実習生は3名。授業だけでなく、クラスの副担任としてホームルーム活動や行事などに深く関わりました。

写真は、実習の集大成ともなる『進路講演会』の様子。実習生であり、本校の卒業生でもある3名の貴重な体験談を聞くことができました。自分たちと同じ道を通ってきた先輩ともあって、生徒たちは食い入るように話を聞いていました。



◎1人目の実習生(女性)は、なんと元担任が77期の現担任！「今こちらにいらっしゃる〇〇先生のクラスでした」と切り出すと、会場が途端にどよめきました。

その後彼女は、

学校全般の活動にバランスよく力を注ぐ、友達と切磋琢磨する、基本を身につける、といった数々の教訓を話してくれました。

「高2のうちにこれをやり切った！と言えるものを作ろう！」という言葉が印象的でした。そして、大学の話に。

「大学は環境が変わる！」「休みがとても長いので、短期留学やアルバイトをやった。」など。体験談にユーモアを交えながら、さすが先生の卵と思わせてくれる話しぶりでした。

◎2人目の実習生(男性)は、科目選択についての実体験を語ってくれました。
高校3年時は、「予備校に行っていなくて怠けてしまうと思ったので、学校の授業をフルに入れました」と、自らを追い込む選択をしたそうです。
また、「得意科目を1科目作ろう」、「英語・数学はもっとやっておけばよかった」など、自身の教訓を赤裸々に語ってくれました。

そして大学の話。

「大学は自分で時間割を作成し、学びたい学問を学ぶ場所です」と力説。

自由とどう向き合うか、改めて考えさせられた77期生も多かったのではないのでしょうか。

最後に、「人生でまたとない高校行事、思い切り楽しめ！」という熱いセリフで締め括っていました。

◎メジャーリーグで大活躍を続ける大谷選手にあやかり、『3番バッター』として登場した実習生(男性)がこの日の講演会の大トリです。

～主なスピーチ内容～

- ・教科は国語と倫理が好きだった。
- ・大学はサークルやバイトに明け暮れたおかげで自分自身を管理するようになった。
色々な活動に取り組む楽しさを味わうことができ、人間性が豊かになった。
- ・高校の時やっておけばよかったのは目標を明確にしておくこと！
自分は目標が漠然としていた。もう少しやりたいことの検討をつけておけば先の行動が変わったかもしれない、と今の2年生が直面しそうな状況を先回りして教えてくれました。

●講演会の最後には、在校生からお礼のメッセージ。時間の都合上、質疑応答はありませんでしたが、個別に質問に行く生徒がちらほら。

大変心に響く貴重な講演会でした。早ければ来年、正教員として旅立つ日がくることを期待しています。

3人の実習生の先生方、どうもありがとうございました！

～2年生(77期生) 今後の予定～

7/10(月)進研模試(全日)

11(火)～12(水)40分7時間授業

15(土)授業日

18(火)オンライン学習デー(水曜日授業)

※各自のタブレット端末を自宅で準備してください

19(水)土曜授業日・アセスメントテスト・SSH講演会

20(木)終業式